

## 第4次 飯田市立図書館サービス計画の策定について

中央図書館

### 1 計画策定の主旨

飯田市立図書館では、「だれでも・どこでも・どんなことでも利用できる市民の図書館」として地域の情報拠点となることを目指し、平成19年度から、第1次・第2次は5年間、第3次は4年間のサービス計画を策定し取組を行ってきました。第3次サービス計画期間終了に当たり、社会状況の変化や利用ニーズを見据えながら、今後の市立図書館のあり方や方向性を整理するとともに、図書館サービスを充実するために第4次計画を策定します。

### 2 計画の位置づけ

「いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)」、「第2次飯田市教育振興基本計画」を上位計画とし、これらの分野別計画として位置づけます。

### 3 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)までの4年間を計画期間とします。

### 4 飯田市立図書館サービス計画の成果と課題

第1次図書館サービス計画（平成19年度～23年度）の主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"><li>・南信州図書館ネットワークの構築による貸出利用の増加</li><li>・ビジネス支援サービスの開始による新たな利用者の増加</li></ul>
第2次図書館サービス計画（平成24年度～28年度）の主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"><li>・郷土新聞、雑誌等のデジタル化やデータベース化による閲覧数の増加</li><li>・関係機関（図書館分館、美術博物館、歴史研究所）との連携により蔵書の有効活用化</li><li>・市民との協働によるよむとす（読書活動推進）事業参加者の増加</li></ul>
第3次図書館サービス計画（平成29年度～令和2年度）の主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページ更新により郷土情報発信、貴重資料検索等学びのための利便性向上</li><li>・発達段階に応じた子どもの読書活動推進に向けて学校図書館との連携強化</li><li>・多様な主体と連携した新たな内容の講座、展示により参加者が拡大</li><li>・インターネット予約を活用した貸出の増加</li></ul>
課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・資料や情報への要求は多様化、専門化してきている。読みたい本を得られる場所であるとともに生活や仕事上の課題に役に立つ情報を得るための図書館サービスの向上が求められる。</li><li>・情報環境をはじめ、子どもを取り巻く状況は大きく変化している。子どもが自発的に読書を行えるようにするためには、関係機関が連携して継続した読書活動推進の取組を行う必要がある。</li><li>・高校生から40歳代までの図書館利用や、分館利用が減少しており、ニーズの把握と対応が必要である。</li><li>・郷土資料の利用の減少や地域の読書会の減少など、大切にしてきた地域の学びが減少してきている。</li><li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市民生活が変化し図書館利用も減少している。</li></ul>

これらの課題を受け、第4次サービス計画では、情報提供機能の充実、子どもの発達段階に応じた継続的な読書活動支援、若い世代の利用推進、身近な図書館としての分館の蔵書整備や利便性向上、読書を通じた学び合いの機会づくり、コロナ禍を踏まえたサービスのあり方検討に取り組めます。

## 5 飯田市の読書活動

読書は自己を形成し、人生を豊かにしてくれます。読書により生きる喜びと夢を育むことは、これからの飯田を支える人づくりのために極めて大切なことです。

この地域では、読書により学ぶこと、また自分だけでなくみんなと読み学び実践することが活発に行われてきました。仲間と一緒に自分たちの力で地域の学びや子どもたちの読書場を作ってきました。これからも、「よむとす」を合言葉に、子どもから高齢者までが生涯を通じて読書に親しみ、生き生きと学ぶことができるよう、市民と図書館が力を合わせて読書活動を推進します。

## 6 飯田市立図書館サービス計画の基本方針

生涯にわたって一人ひとりが読みたい本や知りたい情報を得て主体的に学び、自分や地域にとって大切なものを見つけ、実践することができるよう、次の3つの基本方針のもとに取り組みます。

◇一人ひとりの読書と学びを支えます。

◇読書を通じた交流やつながりを広げます。

◇地域の歴史と文化の記録を蓄積し、現在から将来にわたって地域の学びに活かします。

## 7 具体的な取組

### (1) 図書・資料・情報提供を充実させます

ライフステージや多様なニーズに応じた資料や情報を収集・提供し、市民の主体的な読書や課題解決を支援します。

- ・ニーズの把握と図書及び資料の充実 多様化するニーズに対応するための分担収集と提供 (重点)
- ・貸出・予約・リクエストの推進、相互貸借、複写サービス
- ・レファレンス(調査・相談)の周知及び活用促進、事例活用方法の仕組みづくり (重点)
- ・仕事に役立つ図書・資料の収集と情報提供やリスト作成、講座の開催(ビジネス支援)
- ・所蔵資料紹介、情報発信
- ・行政機関や団体が行う会議・行事における図書館利用 PR 及び館外図書貸出
- ・南信州図書館ネットワークの円滑な運用
- ・障がい者への録音図書提供や高齢者のための大活字本の充実、介護施設等への団体貸出
- ・外国語を母語とする住民のため市内交流団体や学校と連携、ニーズを把握し利用される図書を収集
- ・寄贈資料の整理、保存すべき資料の精査及び保存スペースの確保
- ・電子書籍の研究

### (2) 子どもの読書活動を推進します 発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

子どもたちが、読書の楽しさを体験し、知ること学ぶことの喜びを知り、自分で考える力、課題を解決する力を培うことができるよう、関係機関と連携し、発達段階に応じて継続的に読書活動の推進を行います。

- ・乳児 はじめまして絵本事業 7か月児への絵本プレゼントによる親子のふれあいの機会充実
- ・乳幼児 2歳児相談、乳幼児学級等での保護者への読みきかせ呼びかけ
- ・幼児 家庭での幼児の絵本や物語に親しむ機会充実 (重点) 保育所や分館を通じた家庭へ本の持ち帰りにより本の楽しさを体験する機会を増やす。また読解力の基礎となる力をつける。
- ・小・中学生 学校図書館と連携した自発的な読書のための読む力の育成、読書習慣の形成支援 (重点)
- ・小・中学生 学校図書館と連携した小中学生の情報活用能力育成支援 (重点)
- ・分館を通じた各地区の子どもの読書活動推進
- ・読みきかせボランティア支援

### (3) 身近に使える図書館の充実を図ります 分館の充実・利便性の向上

市民誰もが身近な「わたしの図書館」をもち、いつでもどこでも気軽に本に親しみ、必要な本や情報を得られる環境を整えます。

- ・ 地域の特色と利用者層や利用の実態に沿った分館の蔵書整備（重点）
- ・ 開館時間の見直しやどの館でも返却できる方策検討等、利便性の向上に向けた取組
- ・ 身近な図書館である分館の利用 PR
- ・ 地域や公民館と連携した企画や地域の学びの支援
- ・ 高校生から 20 代の若い世代が気軽に本に親しみ交流できる場所づくり（重点）

### (4) 学び合いにより人と人がつながり、読書や学びが広がる場づくりに取り組みます

市民や団体と協働して、学び合いにより人と人がつながり、交流する機会づくりに取り組みます。

- ・ 市民や団体と協働した講座等の開催
- ・ 読書会交流会開催などにより地域の読書会や読書を通じた学び合いの場支援（重点）
- ・ 交流や学びが広がる市民企画の支援
- ・ 読書を支える担い手（読書活動団体、録音図書製作ボランティアなど）の支援及び活動紹介

### (5) 地域の歴史と文化の記録を蓄積し、提供します

郷土資料を収集、保存、提供し、地域の価値を多くの市民が学び未来へつなぐことができるよう、利用の推進や情報発信を行います。

- ・ 郷土発行物の網羅的収集、保存、提供、郷土新聞・貴重郷土資料のデジタル化
- ・ 地域が育んできた人、歴史、産業、自然等の紹介
- ・ 郷土資料紹介、図書リストの作成やホームページの「いいだの情報・飯田の資料」の項目追加

### (6) 安全で安心して使える施設を整えます

安全に利用できる施設であるために、保守点検と計画的な修繕を行います。

## 8 これまでの経過

- 4月～6月 職員による第3次計画振り返り、現状分析
- 6月25日 図書館協議会へ振り返り報告、委員による評価
- 7月～11月 第4次計画素案作成
- 12月14日 教育委員会定例会 素案説明、協議

## 9 今後の策定スケジュール（予定）

- 12月22日 図書館協議会 計画案説明、諮問
- 1月5日～2月3日 パブリックコメント
- 2月12日 教育委員会定例会 パブリックコメント結果を含めた協議
- 2月下旬 図書館協議会 答申
- 3月 社会教育委員会議 計画案説明、協議
- 3月12日 教育委員会定例会 議案附議、計画決定
- 3月19日 市議会全員協議会 計画報告

## 第4次飯田市立図書館サービス計画 取組別指標および目標値

取組	指標	現状 (R1)	目標値 (R6)	備考
1 図書・資料・情報提供を充実させます	貸出利用者数 (延べ人数) (人)	200,825	201,000	全館 (分館含む)
	予約数 (冊)	60,817	61,000	全館 (分館含む)
	レファレンス数 (件)	2,964	3,000	中央・鼎・上郷
2 子どもの読書活動を推進します	はじめまして絵本 絵本プレゼント受取割合 (%)	97.7	100	絵本を受け取った人数/ 対象者数
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数 (園)	19	26	保育所への団体貸出や分館貸出、保育所の蔵書を通じて定期的に家庭へ本を持ち帰っている保育所数
	日常的に読書を行っている子どもの割合 ※ (%)	小学6年生 67.1 中学3年生 55.6	県平均 以上	全国学力・学習状況調査結果 R1 県平均 小学6年生 69.0 中学3年生 57.1
3 身近に使える図書館の充実を図ります	分館 住民一人当たりの貸出冊数 (冊)	1.8	1.9	分館 貸出冊数/地区人口
	16歳～29歳の貸出利用者数(延べ人数)(人)	10,038	10,500	中央・鼎・上郷
4 学び合いにより人と人がつながり、読書や学びが広がる場づくりに取り組みます	講座・企画等開催数 (件)	23	25	
	講座・企画等参加者数 (人)	1,241	1,300	
5 地域の歴史と文化の記録を蓄積し、提供します	郷土資料の情報発信数 (回)	145	150	館内外展示・リスト配布、HP本の紹介・図書リスト掲載、SNS
	郷土資料の貸出冊数 (冊)	6,770	6,800	

※全国学力・学習状況調査 設問「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書、漫画を除く)」に対し、回答10分以上～2時間以上の子どもの割合